



目的

仮想インフラストラクチャのストレージを簡素化し、クラウドを活用したオフサイトデータ保護を実現する

アプローチ

HPE Cloud Volumesにシームレスな複製を可能にして、仮想教育とビジネスアプリケーションに対応するHPE Nimble Storage Adaptive フラッシュアレイを展開する

IT面の成果

- 重要データの15分リカバリポイントを実現
- スナップショットからのほぼ瞬時のデータリカバリを確保
- クラウド内のVMとそのデータをすべて保護

ビジネス面の成果

- 20校にビジネス継続性を提供
- 重要な運用データを自然災害から保護
- システム管理の簡素化でイノベーションの時間を拡大

優れたパフォーマンスとデータ保護機能をカータレット郡の学校に提供するHPE Nimble Storage

HPE Cloud Volumesがハリケーンに見舞われやすい沿岸部の学校の確実なりカバリを実現



HPE Nimble StorageフラッシュアレイとHPE Cloud Volumesを組み合わせ、高性能ストレージとオフサイトデータ保護機能を簡単に管理できる一体型ソリューションを実現することで、カータレット郡の各公立学校の多様な教育イニシアチブへのサポート、さらに悪天候によるサイト停止時の確実なりカバリが可能になりました。

沿岸地区は米国の東部と西部に点在しています。悪名高いハリケーン地帯の真ただ中に位置している地域はごくわずかですが、クリスタルコーストとして知られるノースカロライナ州の最東端には、20か所で約8,500人の生徒にサービス提供する公立学校システムを備えたカータレット郡があります。

現代のあらゆる学校システムと同様に、カータレット郡の公立学校は、給与と人事から、教師向けの教育技術、生徒向けのオンライン学習に至るまで、ITサービスに大きく依存しています。カータレット郡の公立学校のワイドエリアネットワークエンジニアであるWes Rinehart氏が断言しているように、ITは新しいタイプのカリキュラムや教育イニシアチブのサポートを絶えず求められています。

「私たちは、将来インフラストラクチャに変更を加える際に選択肢に制限のないオープンアーキテクチャーベースのストレージソリューションを探していました。単純に既存インフラストラクチャで機能するシンプルで堅牢なストレージを必要としていたのです。HPE Nimble Storageがそれを叶えてくれました」

–カータレット郡の公立学校、ワイドエリアネットワーク エンジニア担当、Wes Rinehart (ウェス・ラインハート) 氏

「私たちはカリキュラムチームと緊密な関係を維持しながら、生徒たちが卒業後もこの郡でより良い成果を収める準備としての最適な教育プログラムを提供できるよう、カリキュラムチームを支援しています。カータレット郡には海洋科学、軍事、航空宇宙などが集中しているため、この郡は特に数学と工学の教育に力を入れています。

Rinehart氏と彼のチームの課題は、複雑なインフラストラクチャによって小規模なITチームがすぐに困憊しかねないことです。「できるだけ複雑性を軽減して、効率化することが必要です」とRinehart氏は語っています。

このため、カータレット郡の公立学校は、この数年間、ITインフラストラクチャを主に物理的な環境から高度に仮想化された環

境に移行してきました。各サイトでローカルサーバーを使用する代わりに、本番環境データセンターのクラスター化されたMicrosoft® Hyper-V仮想化環境にサーバーを統合しました。多くのデータを一元化することで、Rinehart氏は信頼性の高いパフォーマンスと高可用性を実現できるエンタープライズストレージの必要性を認識したと言います。

「私たちは、将来インフラストラクチャに変更を加える際に選択肢に制限のないオープンアーキテクチャーベースのストレージソリューションを探していました。単純に既存インフラストラクチャで機能するシンプルで堅牢なストレージを必要としていたのです。HPE Nimble Storageがそれを叶えてくれました」





エンタープライズグレードのクラウドストレージがハリケーンからデータを保護

Rinehart氏は、**HPE Nimble Storage** アダプティブ フラッシュアレイを2台展開しました。1台は沿岸のプライマリ データセンターにあり、もう1台は内陸のセカンダリ データセンターにあります。Rinehart氏は、HPE Nimble Storageのスナップショット機能を最大限に活用し、データの重要度に基づいてさまざまなリカバリポイントを使用して仮想マシン (VM) とデータを迅速に回復させています。たとえば、財務データは15分ごとにスナップされ、重要度の低い教育アプリケーションは1日1回のみ頻度となります。保護を強化するため、Rinehart氏は2台のHPE Nimble Storageアプライアンス間でスナップショットも複製します。しかし、学区が海に近いことと、ハリケーンの季節的な脅威を考えると、最重要データの完全保護における確実性をさらに強化する必要がありました。

「悪天候と洪水は、データ損失を引き起こす最大の脅威です」とRinehart氏は語っています。「この対策のカギを握るクラウド対応型ストレージプラットフォームによって、データをオフサイトでバックアップできるようになりました」

以前、Rinehart氏はサブスクリプションベースのクラウドバックアップソリューションを使用していましたが、仮想環境向けには設計されていませんでした。HPE Cloud Volumesの導入によって、VM全体とそのデータをすべてをエンタープライズグレードの安全なクラウドストレージ環境にバックアップするのに最適なクラウドバックアップソリューションが実現されました。

「Nimbleソリューション内からの複製にCloud Volumesをターゲットにするだけです」とRinehart氏は語っています。「完全にシームレスで、たとえ災害に見舞われても最も重要なデータを回復できるという安心感があります」



お客様のソリューション概要

ソリューション

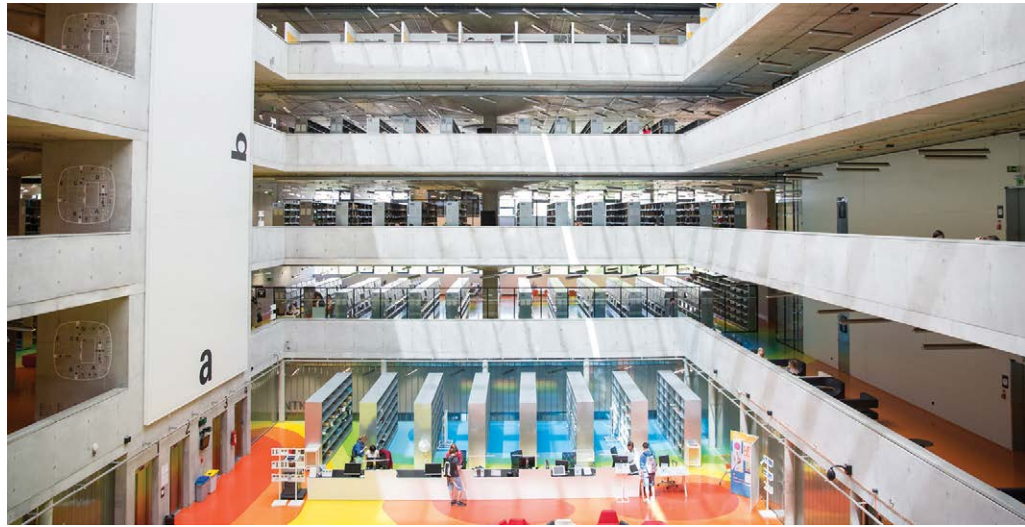
沿岸学区用の教育プログラムと管理ワークロードを実行するアダプティブフラッシュストレージ

ハードウェア

HPE Nimble Storageアダプティブフラッシュストレージ

クラウドサービス

- HPE InfoSight
- HPE Cloud Volumes



柔軟性に富むシンプルなストレージ

Rinehart氏は、HPE Nimble Storageフラッシュアレイと**HPE Cloud Volumes**を活用することで、高性能ストレージとオフサイトデータ保護をすべて、管理しやすい単一ソリューションとして実現しています。

「ストレージ性能が重要です」と彼は断言します。「すべてのデータが元化されているので、あらゆるボトルネックもビジネス部門から教室に至る人物全員に影響を与えません。Nimbleアレイのおかげで、必要な性能をシームレスに利用できます」

Rinehart氏は、Nimbleではストレージリソースの管理とプロビジョニングがいたって簡単になることも指摘しています。これは、すべての管理チームとカリキュラムチームからの新しい要求に対応するうえで非常に重要だと指摘しています。「VMのリソースを計画する時間がはるかに短縮されました。そしてサーバービルドから処理能力や

ストレージのプールに至るまで、すべてを抽象化しました。使用できるリソースが十分にあるため、必要なものを構築し、配置先はテクノロジーに決定させることができます。以前と比べ、柔軟性が大幅に高まりました。」

HPE InfoSightを導入したことで、Rinehart氏は突然の容量不足に直面する心配がなくなりました。これは、VMとストレージ環境が継続的に監視するHPE InfoSightによって、必要容量の増大傾向やシステムの稼働状態を把握できるためです。必要があれば、Rinehart氏は電話を1本入れるだけで専門家のサポートを受けることができます。

「HPE InfoSightは、サポートエンジニアに相談する前の情報収集に便利です」とRinehart氏は語っています。「電話をしたときのNimbleサポートの対応は極めて的確です。その分野の専門家と話すのに、いくつもサポート層をエスカレートする必要もありません。必要な解決策をサポートしてくれるので、学校での必要業務に注力できる時間が増えました」

メールニュース配信登録

© Copyright 2018 Hewlett Packard Enterprise Development LP. 本書の内容は、将来予告なく変更されることがあります。ヒューレット・パカード エンタープライズ製品およびサービスに対する保証については、当該製品およびサービスの保証規定書にのみ記載されています。本書のいかなる内容も、新たな保証を追加するものではありません。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対しては責任を負いかねますのでご了承ください。

Microsoftは、米国およびその他の国におけるMicrosoft Corporationの登録商標または商標です。その他すべてのサードパーティの商標は、それぞれの所有者に帰属します。

a00049397JPN、2018年6月